

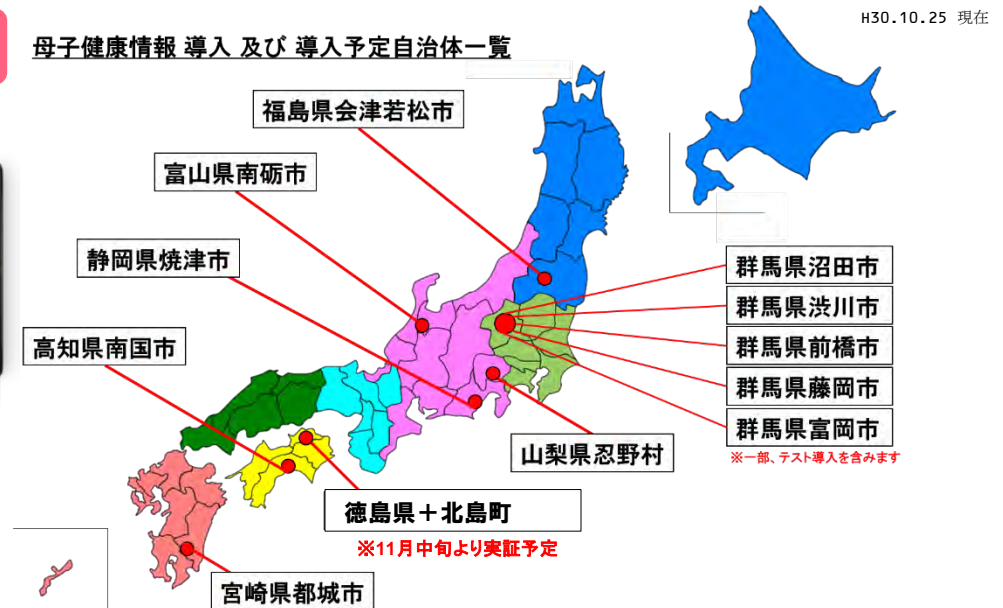
母子健康情報サービスアプリ(概要)

- スマートフォン等で、市町村からの検診結果の連携やお知らせ配信、予防接種の目安時期の通知、妊娠週数・子供の月齢に合わせた役立つ情報の閲覧などの機能を有するサービス（ユーザー登録時にマイナンバーカードを使用。）。
- 2015年度補助事業を踏まえて実用化。全国11の地方公共団体で導入済みであり、900名程度が利用中（2018年5月現在）。
- 2017年9月よりマイナンバーカード取得率の高い都城市(人口16.6万人に対し交付率26.2% (2018年7月時点))での導入が始まったほか、2018年11月中旬より徳島県を主体とし、県下自治体（北島町）での実証実験が開始予定。



ユーザー登録時にマイナンバーカードを使用

母子健康情報 導入 及び 導入予定自治体一覧



前橋市のタクシー運賃補助制度(「マイタク」)における活用

- 平成28年より導入済みのマイタク※の利便性向上や運用効率化のため、紙の登録証や利用券に代わり、マイナンバーカードを活用する取組を平成30年1月～3月に実施。
- マイナンバーカードを活用して資格確認や精算等を電子化・効率化することで、利用者の利便性向上とともに、タクシー等の公共交通サービス事業者、地方公共団体の事務負担も軽減可能に。
- 実証結果を踏まえ、平成30年度から正式に運用を開始、マイナンバーカードへの移行を進める。
マイナンバーカードを、福祉チケット等の利用券、回数券として活用する仕組みとして、他地域への横展開を目指す。

【実証概要】

- マイタク: 高齢者など移動困難者がタクシーを利用する際の運賃補助制度(利用者数は平成30年3月末時点で約22,000名。)。利用登録を行うことで利用者へ登録証と利用券が発行され、タクシー利用時に提示することで運賃補助を受けることができる。
- 参加者にインセンティブ(最大1,000円の運賃補助を30回分)を付与。
- 利用者・市職員・ドライバーのいずれも評価が高く、実証事業実施期間中に、692名の利用者がマイナンバーカードに移行。
(平成30年8月末現在、2058名が利用中)

